



校内研究の更なる充実 ②

事前授業の取組を通して

校内研究における事前授業とは、本研究授業の前に行う準備的な授業のことです。

本研究授業の授業者等が、他学級において指導案に基づく授業を実施します。この授業をできるだけ多くの教師が観察したあと、英知を結集して**指導案の再検討**を行うのです。

通常は、一人の教師に指導案の作成と授業の実施を任せがちです。

事前授業の一連の取組を通して指導案の修正に関わった教師は、**共に授業に責任を負うこと**になります。そのため、**主体的な参加が促進され、研究が活性化**することが期待されます。この段階から外部講師を招へいして指導を受ければ、授業の質はより一層高まるでしょう。

本研究授業後の協議会で明らかになった事項を生かして全ての教師が授業を実施し、その成果と課題を研究部が集約して新たな課題設定を行うことは、**学校としてのマネジメントサイクルに沿った授業改善**の基盤となります。



学生を養成する

実業家 渋沢栄一

学生を養成するには、その智識を増やしむるよりは、一意専心、志を貫くという強固の精神を持たせたいものである。

空漠（くうばく）の論理に拠（よ）らずして、実際の事実を詳細に説示し、かかる事はかくなるものであるという実例と原理を会得せしめ、もって物事に当たらしむるが必要である。

出典：「渋沢栄一 一日一言 人間力を高める言葉」（致知出版社）

※ 強い精神をもって、己の志を貫く人材を育てたいと思います。